

9 月度 例会 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL : 岸上、SL : 木内 竹内、津田、天野、杉本、 神戸(記)
個人		報告日	10/13		
山 域	北アルプス	山行日	15 年 9 月 19 日 (土) -20 (日)		
山 名	針ノ木岳・蓮華岳				
山行目的	北アルプスを楽しむ		コースタイム (天候 : 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



2.5 万分の 1 地図 : 黒部湖

9/18(金)曇り 19:00 本社 N1P 発 23:45 扇 沢無料駐車場着	9/20(日) 晴れのち曇り 5:00 起床 5:50 テン場発
9/19(土) 晴れ時々曇り 5:40 駐車場発(1390m) 7:10 大沢小屋休憩(1680m) 7:55 雪溪取り付き休憩 (1840m) 9:05 休憩(2130m) 10:15 休憩(2440m) 10:40 針ノ木小屋、針ノ木 峠着(2536m) テント設営	6:55-7:15 蓮華岳 (2799 m) 休憩 7:55 針ノ木小屋着(2536m) テント撤収 8:20 針ノ木小屋発(2536m) 9:00 休憩(2150m) 9:50 雪溪通過 10:30 大沢小屋休憩 (1680m)
11:20 針ノ木小屋出発 12:15-30 針ノ木岳(2820m) 13:15 針ノ木小屋着 コミュニケーション 16:30~ 夕食 18:30 就寝	11:35 扇沢駐車場着 (1390m)

〈山行報告〉 土曜日 5:00AM 関東支部長と扇沢駐車場で待ち合わせ。シルバーウィークの為に若干遅れて集合し出発する。今回はメンバーもシルバーが多い。9月ということもあって日本3大雪溪の歩きを楽しむというより、若干の紅葉を楽しみに登った。雪溪は白馬よりは急勾配のはずだったが、やはり夏を過ぎたは緩やかな傾斜にしか残らず、砂利等の堆積物で滑り止めになる。とはいうものの安全サイドで軽アイゼンをつけて歩く人もいた。雪溪に沿っての巻き道は幅が狭く行き交いも難しいが、登りは下山者も少なかった。雪溪は景色のみ楽しみ、今度は針ノ木岳からスバリ岳、赤沢岳への稜線の岩肌に北アルプスを感じてゆっくり登る。天気も 2100m を超えると若干の紅葉があつて眺めも楽しめた。5時間ほどで峠に着くと槍ヶ岳も見えてなかなか良いところだ。早々にテント受付し、まず針ノ木岳に登頂。残念ながら北西からはガスが沸き上がって、眼下の黒部湖はうっすら見える程だった。小屋に戻って1時半から4時半まで歓談し、寒くなってすぐ夕食となった。翌日の朝は、なだらかな山容の蓮華岳登り。途中ずっと快晴だったので、昨日拝めなかった立山、剣岳はいうに及ばず、北は白馬、五竜、鹿島槍、妙高、南は槍穂、遠くに富士山もうっすら、西は裏銀座の名峰、東は浅間山の眺望を楽しめた。今年一番の絶景を楽しめた。北アルプスは眺望が魅力だが、まさにその中心にいるような感じであった。また来てみたい思いを強くする山行であった。



フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認
(リーダー)
岸
15/09/26
上
作成
(報告者)
神
15/09/21
戸

〈リーダー所見〉 今回は、7名での例会。北アルプスの中央に位置しており、マイナーコースだが、ルートがしっかりとおり、眺望も良かった。雪溪も小さくなっており、危険度は低い。ただ、ストックと軽アイゼンは、使用有無に関わらず、持ってくるべきと感じた。木内君も、慣れないSLながら、何とか歩き通せた事も収穫。来年は針の木～鳴沢岳を通る周回コースを計画したい。